

水島地区 意見交換概要

日時 令和4年7月1日(金)19:30～20:42

場所 水島公民館

出席 42名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	国が文化観光を進め始め、国・県・市町村の指定文化財以外の文化財についても修繕の補助をするということになった。ただし、文化庁に20日間位で手を挙げ、設計書・見積りの全てを提出しなければならず、多くの自治体が出せなかった。小矢部市は、曳山の修繕が対応できたが、文化財担当が1名しかいないというのは、少な過ぎる。	これから文化財は、保存しながら活かすように、観光資源として保護し、活用していかなければならないと思っている。持ち帰り、人事担当と協議する。
2	市外からの移住に対する補助が好評だったが、財政的な問題で少し縮小したと聞いた。	市外から転入した新婚（結婚から3年以内）に限り、100万円の助成に縮小した。これまでの検証の結果、不公平感があったので、新婚に限り助成することにした。
3	空き家対策について。市外からの移住に対して改修工事の補助はあるのか。	空き家バンクに登録した空き家であれば、改修の費用は出る。
4	市役所で女性をもっと登用し、雰囲気を変えてはどうか。	登用率から見ると、それほど悪くないと思う。人事担当に伝える。
5	難しいとは思いますが、給食費を公費で出せないか。	上市町、朝日町は給食費を無償化している。小矢部市が給食費を無料化すれば、だいたい1億2,000万円位になり、今の体力では厳しい。
6	市外からの移住も大切だが、市外へ出る人が多い。次男など若い人たちが砺波市で家建てる。どうしてそうなるのかを考えてほしい。	特に女性の方が、大学で首都圏などへ行かれた場合、なかなか帰ってこられないという実態がある。様々な議論をしているが、大学へ行くなどとも言えないので、頭の痛いところである。小矢部市は間違いなく住みやすいと思っているので、人口対策の中で議論していきたい。
7	地域で働ける企業の誘致や、地元で働ける環境を企業に強く要望してほしい。また、近い将来ではなくとも遠い目標として、人口増となる施策をお聞かせいただきたい。	小矢部市に住んでいる方にありがとうと言ってもらわないことには、外から小矢部市に行こうとは誰も思わない。これは市役所の中も同様と考え、「あったか窓口日本一を目指そう」というフレーズを掲げている。人口増のため、しっかりと企業誘致にも取り組んでいかなければならない。
8	仕事で市役所に行くことがあるが、市役所は朝は8時半にならないと電気がつかない。昼の時間も暗くなる。エアコンも夏は28℃と、劣悪な環境で仕事をされていると思う。もう少し考えてはどうか。	このような御提案をいただいたのは、初めてである。持ち帰って協議したい。